

宮代町ヤングケアラー実態調査
報告書（概要版）

令和6年3月

宮代町

宮代町ヤングケアラー実態調査結果 報告書（概要版）

宮代町では、町内におけるヤングケアラーに関する状況を把握し、ヤングケアラーと思われる子どもを早期発見するとともに、支援につなげる仕組みづくりの検討を行うため、町内小学校に通う児童（4～6年生）及び町内中学校に通う生徒（1～3年生）に対して実態調査を実施しました。

【調査の概要】

調査対象	・町内小学校に通う4年生から6年生全員（777名） ・町内中学校に通う1年生から3年生全員（686名）
回収数	小学生：551件(70.9%) 中学生：622件(90.6%)
調査期間	令和5年10月2日（月）～10月20日（金）
実施方法	① 保護者への協力依頼文を配布 ② 調査の実施に先立ち、教員から調査・ヤングケアラーに関する説明を実施 ③ 情報端末を用いたWeb上での回答を基本とし、学級時間やホームルーム等、学校時間を活用

【主な調査項目】

- ・属性
- ・普段の学校生活について
- ・お世話について
- ・普段の生活について

【国・県の調査との比較】

報告書内では、一部の設問について、以下のとおり実施された国・県の調査結果との比較をしています。

- 厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和3年3月）
調査対象：中学2年生、高校2年生
- 厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和4年3月）
調査対象：小学6年生
- 埼玉県「埼玉県ケアラー支援計画のためのヤングケアラー実態調査結果」（令和2年11月）
調査対象：高校2年生

【報告書の見方】

(1) グラフ中の「n」（number of case の略）は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数です。複数回答の設問では、すべての比率を合計すると100.0%を超えます。

(2) グラフ中の選択肢の表記は、場合によっては語句を一部簡略化しています。

(3) グラフ中の選択肢は、回答がなかったものを削除しています。

【調査結果】

(1) 自身がヤングケアラーにあてはまると思うか【単一回答】

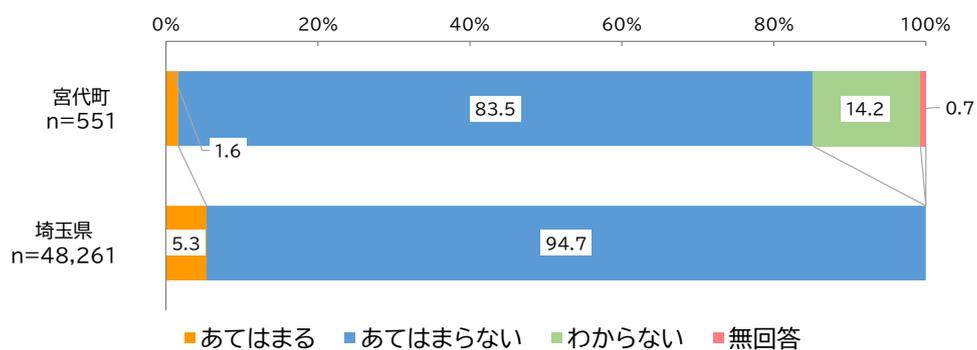
自身がヤングケアラーにあてはまると回答した人は、小学生では9人で、中学生では6人となり、その割合は、小学生で1.6%、中学生で1.0%となっています。

国・県の調査と比較するとヤングケアラーにあてはまる人は全体的に少ない傾向にあります。

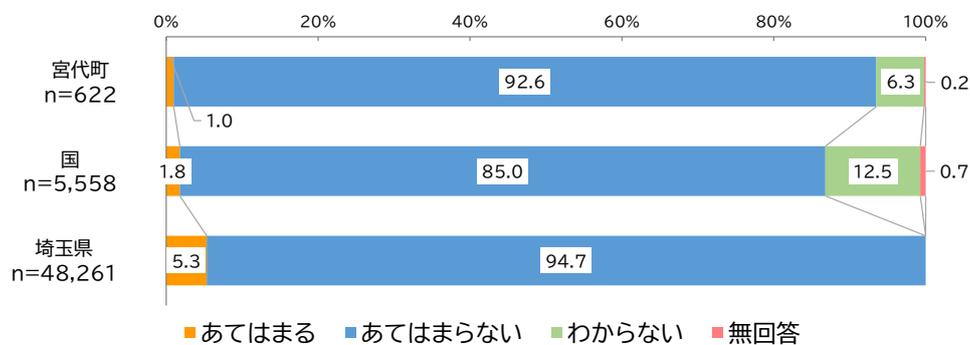
(※国の調査では、中学2年生を対象にしています)

(※県の調査では、高校2年生を対象にしています)

①小学生



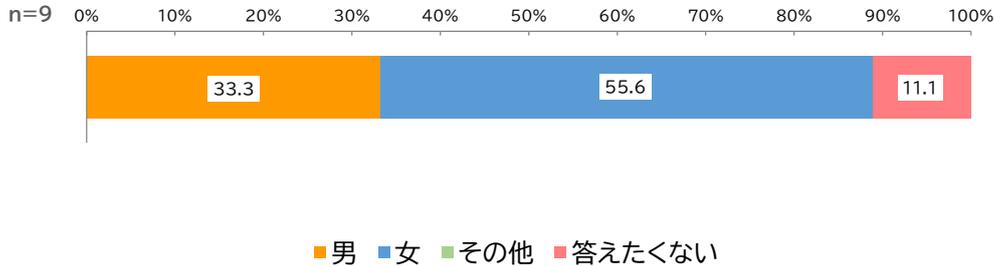
②中学生



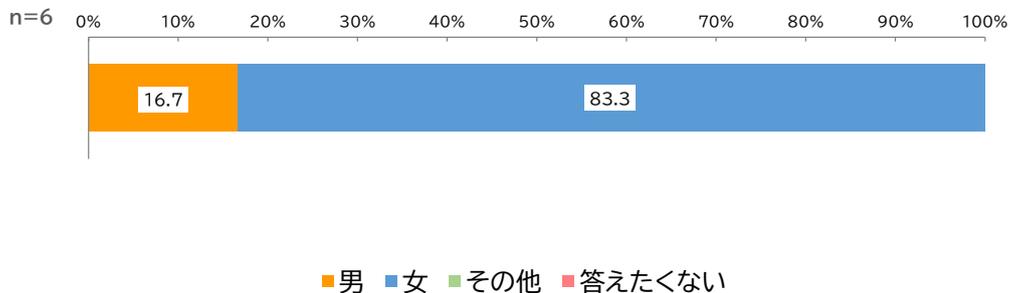
(2) ヤングケアラーの性別【単一回答】

ヤングケアラーの性別は、小学生では「男」が3件、「女」が5件となっています。中学生では「男」が1件、「女」が5件となっています。

①小学生



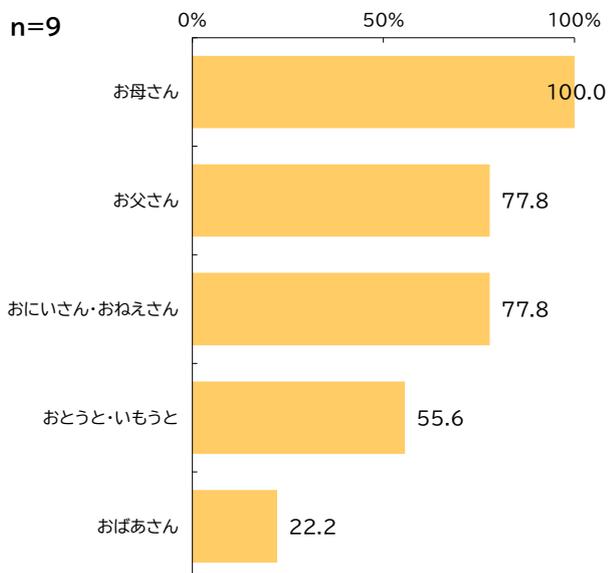
②中学生



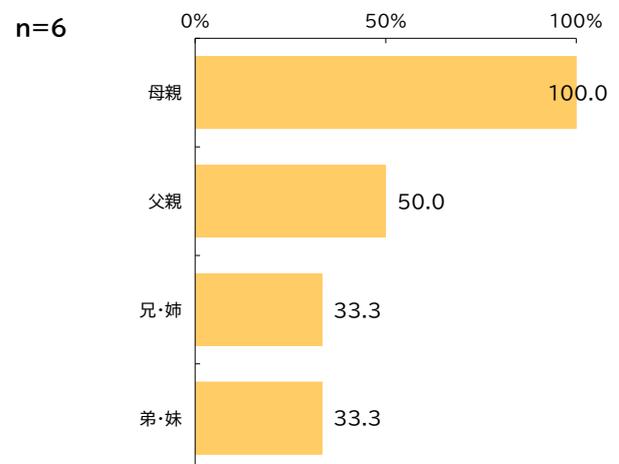
(3) 同居家族【複数回答】

ヤングケアラーの同居家族は、小学生・中学生とも「母親」は小学生では9件、中学生では6件となっています。回答の内容から家族構成をみると、ひとり親家庭と思われる児童が小学生では2件、中学生では3件となっています。

①小学生



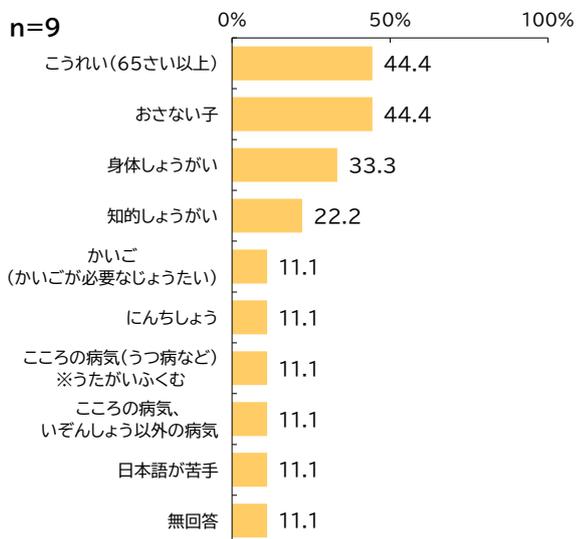
②中学生



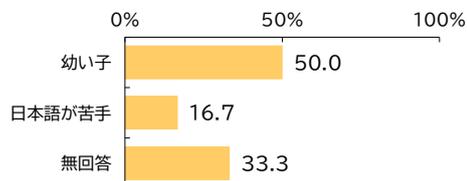
(4) お世話を必要としている家族の状況【複数回答】

お世話を必要としている家族の状況は、小学生では「高齢」・「幼い子」が4件、次いで「身体障がい」が3件、「知的障がい」が2件となっています。中学生では「幼い子」が3件、次いで「日本語が苦手」が1件となっています。

①小学生



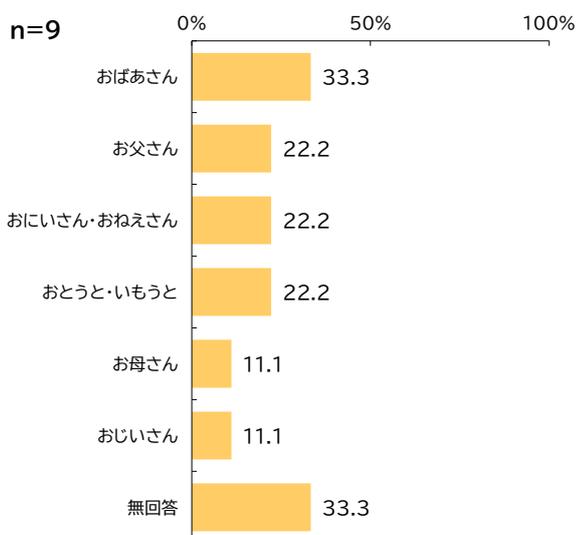
②中学生



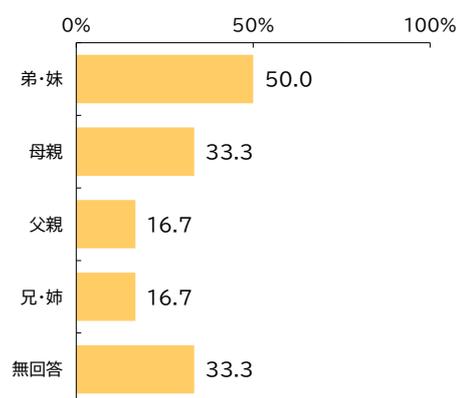
(5) お世話を必要としている家族【複数回答】

お世話を必要としている家族は、小学生では「祖母」が3件、次いで「父親」・「兄・姉」・「弟・妹」が2件となっています。中学生では「弟・妹」が3件、次いで「母親」が2件、「父親」・「兄・姉」が1件となっています。

①小学生



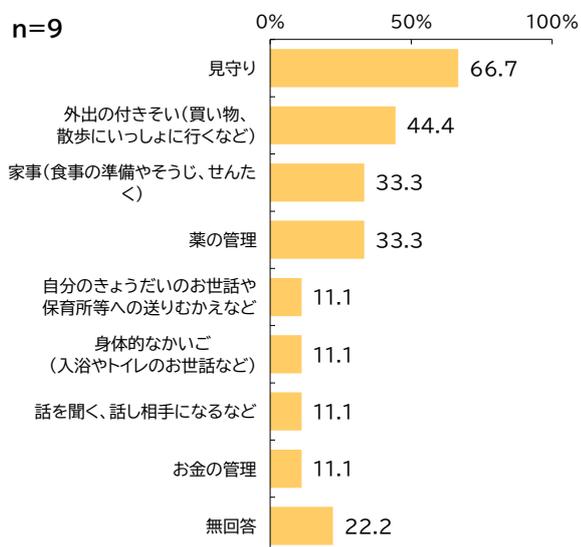
②中学生



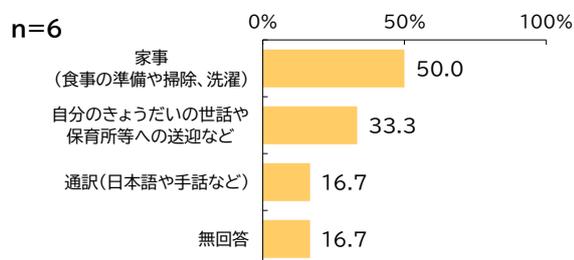
(6) お世話の内容【複数回答】

お世話の内容は、小学生では「見守り」が6件、次いで「外出の付き添い」が4件、「家事」・「薬の管理」が3件となっています。中学生では「家事」が3件、次いで「自分のきょうだいの世話や保育所等への送迎など」が2件、「通訳」が1件となっています。

①小学生



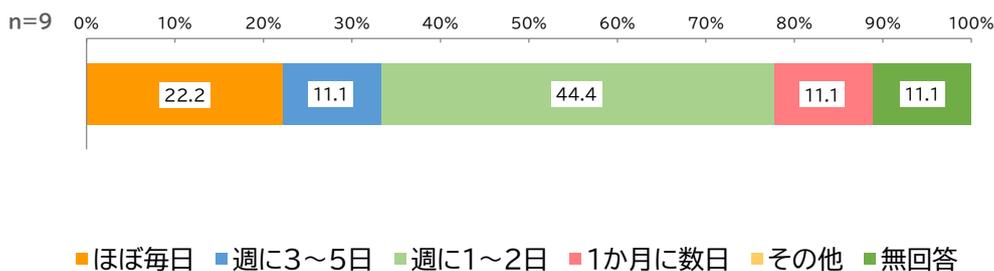
②中学生



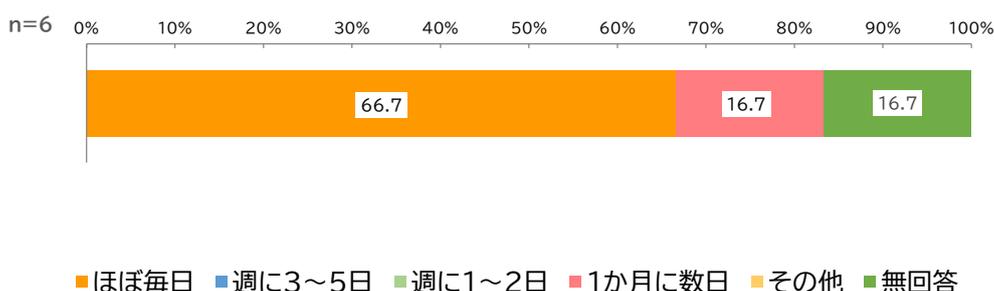
(7) お世話をしている頻度【単一回答】

お世話をしている頻度は、小学生では「週に1～2日」が4件、次いで「ほぼ毎日」が2件、「週に3～5日」、「1か月に数日」が1件となっています。中学生では「ほぼ毎日」が4件、「1か月に数日」が1件となっています。

①小学生



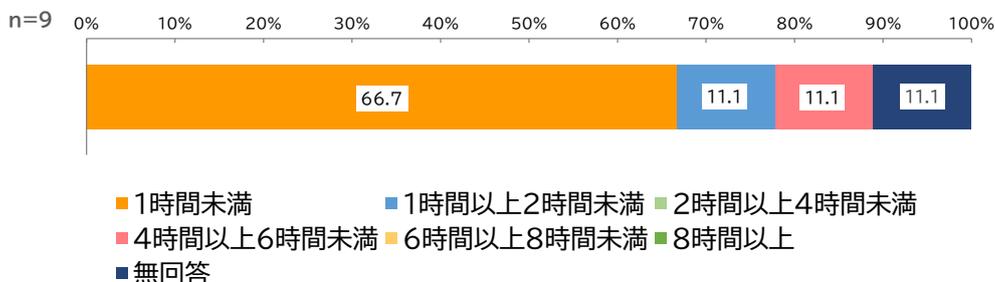
②中学生



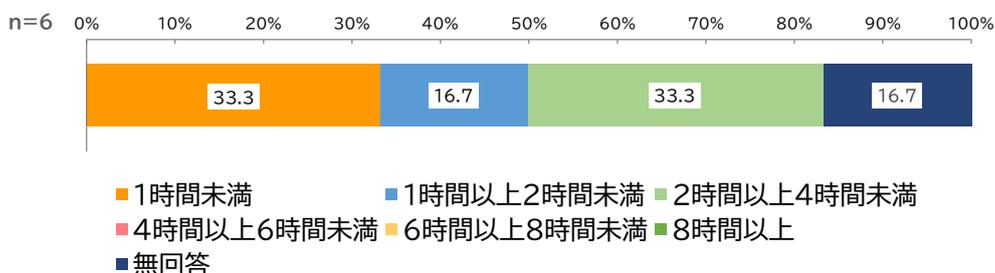
(8) 平日1日あたりにお世話をする時間【単一回答】

平日1日あたりにお世話をする時間は、小学生では「1時間未満」が6件、次いで「1時間以上2時間未満」、「4時間以上6時間未満」が1件となっています。中学生では「1時間未満」、「2時間以上4時間未満」が2件、「1時間以上2時間未満」が1件となっています。

①小学生



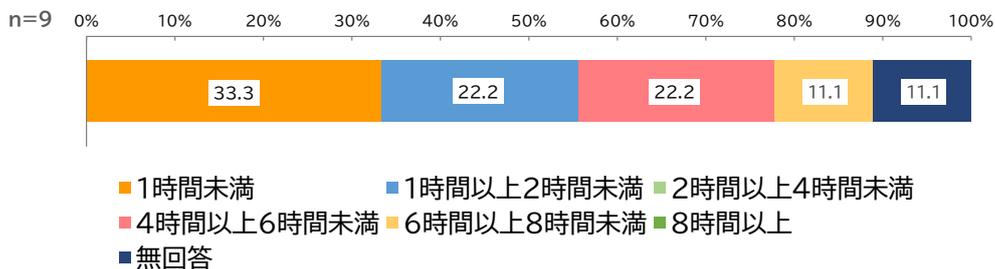
②中学生



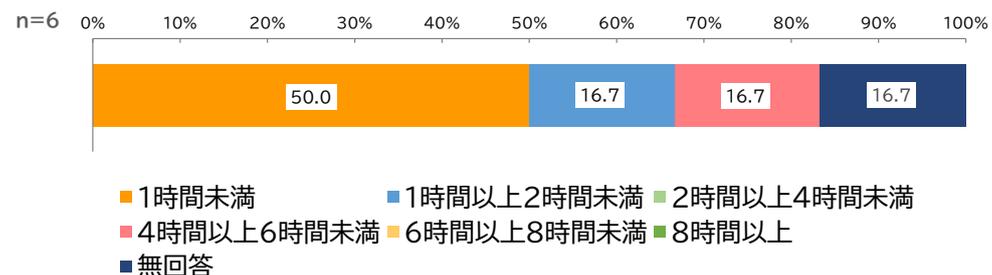
(9) 休日1日あたりにお世話をする時間【単一回答】

休日1日あたりにお世話をする時間は、小学生では「1時間未満」が3件、次いで「1時間以上2時間未満」、「4時間以上6時間未満」が2件、「6時間以上8時間未満」が1件となっています。中学生では「1時間未満」が3件、次いで「1時間以上2時間未満」、「4時間以上6時間未満」が1件となっています。

①小学生



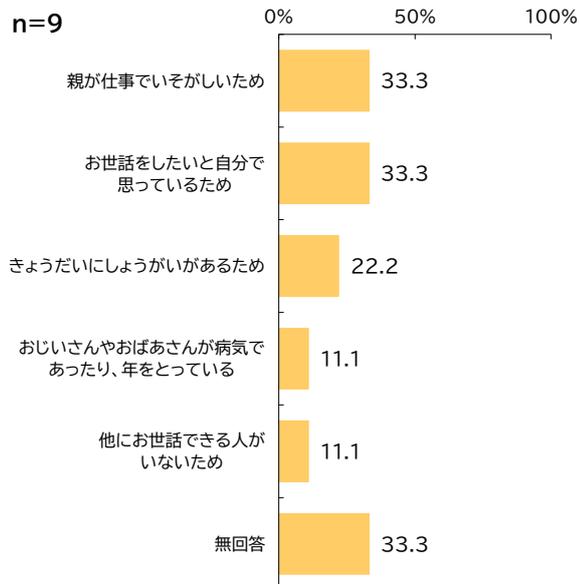
②中学生



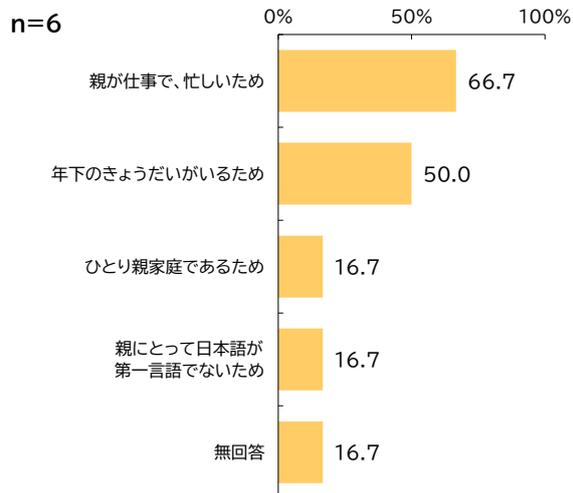
(10) お世話をする理由【複数回答】

お世話をする理由は、小学生では「親が仕事で、忙しいため」、「お世話をしたいと自分で思っているため」が3件、次いで「きょうだいに障がいがあるため」が2件、「祖父母の病気や加齢、入院のため」、「他にお世話できる人がいないため」が1件となっています。中学生では「親が仕事で、忙しいため」が4件、次いで「年下のきょうだいがいるため」が3件、「ひとり親家庭であるため」、「親にとって日本語が第一言語でないため」が1件となっています。

①小学生



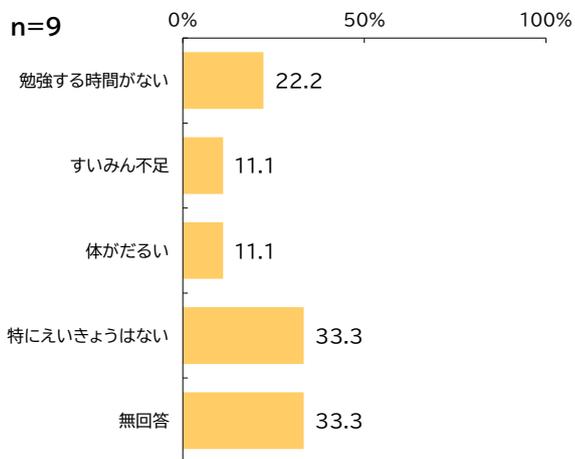
②中学生



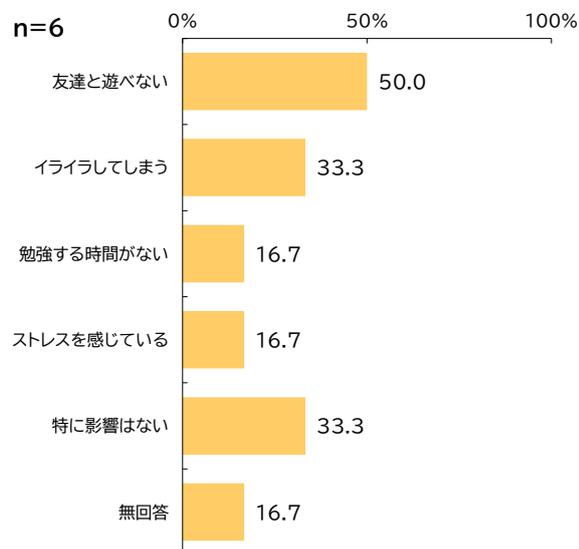
(11) お世話をしていることでの影響【複数回答】

お世話をしていることでの影響は、小学生では「勉強する時間がない」が2件、次いで「睡眠不足」、「体がだるい」が1件となっています。中学生では「友達と遊べない」が3件、次いで「イライラしてしまう」が2件、「勉強する時間がない」、「ストレスを感じている」が1件となっています。

①小学生



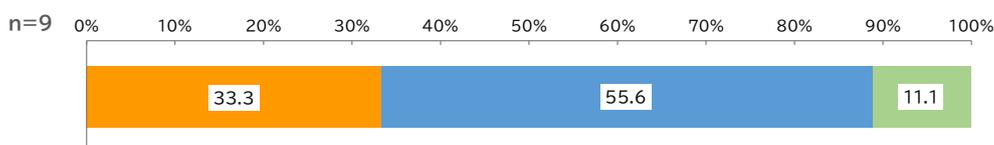
②中学生



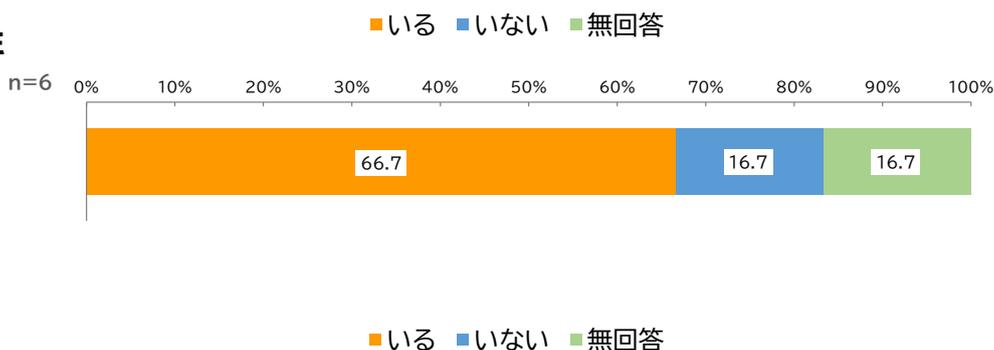
(12) お世話の悩みや不満を話せる相手の有無【単一回答】

お世話の悩みや不満を話せる相手の有無は、小学生では「いる」が3件となっています。中学生では「いる」が4件となっています。

①小学生



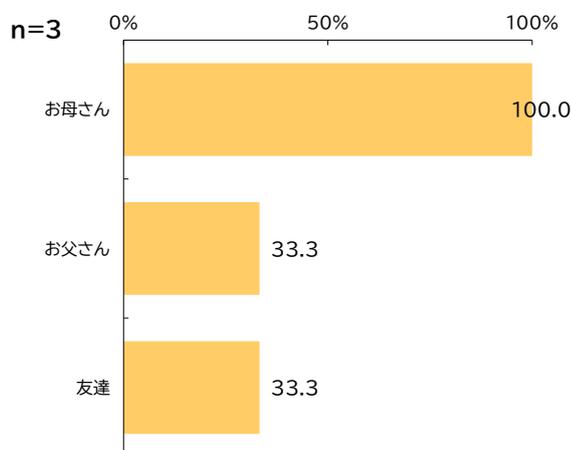
②中学生



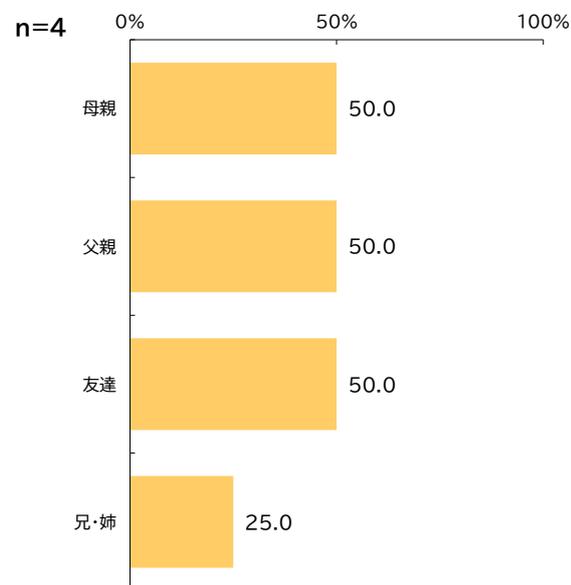
(13) 実際にお世話の悩みや不満を話した相手【複数回答】

実際にお世話の悩みや不満を話した相手は、小学生では「母親」が3件、次いで「父親」、「友達」が1件となっています。中学生では「母親」、「父親」、「友達」が2件、次いで「兄・姉」が1件となっています。

①小学生



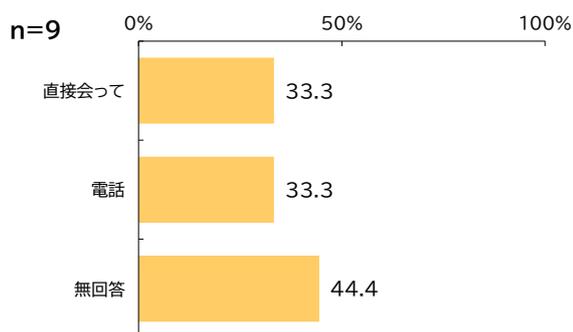
②中学生



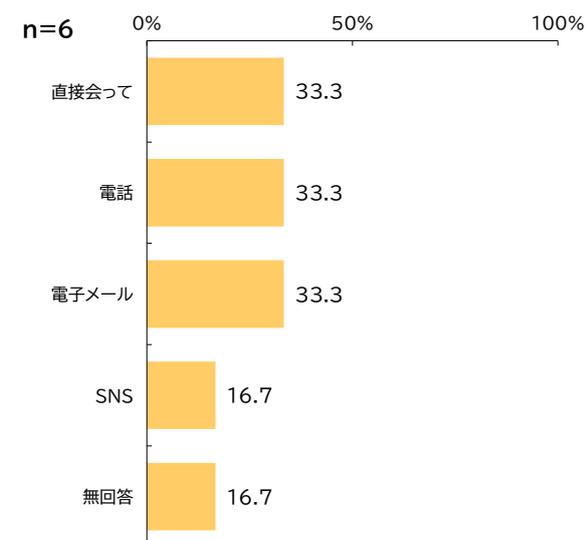
(14) 相談する方法の希望【複数回答】

相談する方法の希望は、小学生では「直接会って」、「電話」が3件となっています。中学生では、「直接会って」、「電話」、「電子メール」が2件、次いで「SNS」が1件となっています。

①小学生



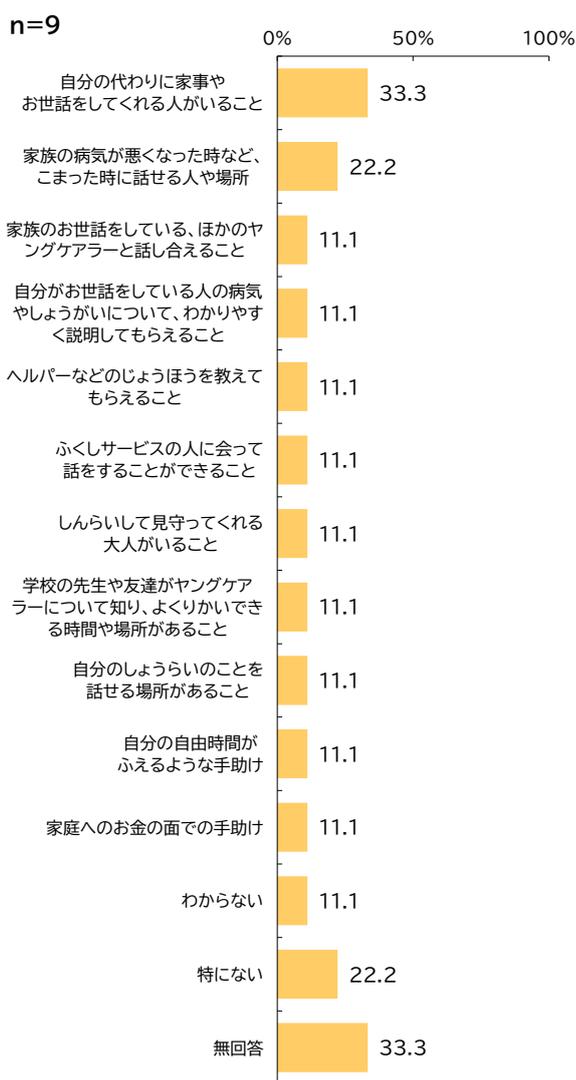
②中学生



(15) お世話のことであったら良いサポート【複数回答】

お世話のことであったら良いサポートは、小学生では「自分の代わりに家事やお世話をしてくれる人がいること」が3件、次いで「家族の病気が悪くなった時など、困った時に話せる人や場所」が2件、「家族のお世話をしている、他のヤングケアラーと話し合えること」、「自分がお世話をしている人の病気や障がいについて、わかりやすく説明してもらえること」、「ヘルパーなどの情報を教えてもらえること」などが1件となっています。中学生では「自分の将来のことを話せる場所があること」が2件、次いで「自分の代わりに家事やお世話をしてくれる人がいること」、「宿題や勉強を手助けしてもらえること」、「信頼して見守ってくれる大人がいること」が1件となっています。

①小学生



②中学生

